

第2部 基本構想

第1章 まちづくりの基本理念

基本理念1 市民の暮らしを地域と行政がともに支えるまちづくり

基本理念2 富良野の魅力や強みを活かし創造するまちづくり

第2章 富良野市の将来像

将来像（めざす姿） 安心と希望、協働と活力の大地『ふらの』

まちづくりのテーマ 住み続けたいまち、そして、子どもたちに誇れるまちをめざして

第1章 まちづくりの基本理念

富良野市のまちづくりの課題や地域特性を踏まえて、基本構想全体を貫く考え方として、下記の基本理念を掲げます。

基本理念1 市民の暮らしを地域と行政がともに支えるまちづくり

- ⇒市民一人ひとりが自立を尊び、健康に対する意識を高め、自己実現をめざすまち
- ⇒高齢者や障がい者など誰もが自らの能力を発揮し、住み慣れた地域で安心して暮らせる思いやりのあるまち
- ⇒若い世代が子育てに自信と喜びを持ち、子供たちの笑顔があふれ、家庭、学校、地域が連携した教育環境
- ⇒災害や犯罪からの安全や住みよさを高め、助け合い、支えあって地域課題の解決に取り組むコミュニティ
- ⇒地域組織やNPO、企業など地域を構成する主体が連携し、民間や公共のサービスを補完する共助・協働のまち

基本理念2 富良野の魅力や強みを活かし創造するまちづくり

- ⇒市民一人ひとりが美しい自然環境との共生を考え、ごみの減量や資源の節約に工夫し、実践するまち
- ⇒農業を基幹産業に据え、新規就農者の育成と環境負荷の少ない安全安心な食料を提供する農村社会の形成
- ⇒豊かな田園環境の中で体験学習、環境教育、地産地消を通じて、観光客や移住希望者を優しく迎えるまち
- ⇒商店街や事業者がしっかりと連携し、まちなかに賑わいと利便性の高い都市機能を創出するコンパクトなまち
- ⇒多様な就労形態や起業化を尊重し、安定した雇用と産業・生活基盤の確立に必要な人材を育成するまち

第2章 富良野市の将来像

基本理念に沿って、富良野市の将来像（めざす姿）とまちづくりのテーマを下記のとおり掲げます。

将来像（めざす姿）

安心と希望、協働と活力の大地『ふらの』

＝ まちづくりのテーマ ＝

住み続けたいまち、そして、子どもたちに誇れるまちをめざして

将来像の考え方

■自然の恵みと市民の営み

- ・ 広大な北海道の真ん中に位置する富良野市。大雪山系十勝岳と夕張山系芦別岳は、雄大で美しい山並みと盆地を形成し、山裾まで広がる森林は豊富な水と肥沃な大地をつくり、移ろいと彩りの四季は生産性の高い農業と勤勉な市民の生活を育ててきました。
- ・ 私たちは、この恵まれた大地が産み出す多様な資源を生活と生産活動の中で有効に活用しながら日々の営みを発展させ、大切な自然環境との共生を実践しながら、未来に託すことのできる郷土をつくる努力を重ねてきました。

■変貌を続ける社会環境

- ・ 近年、私たちの営みを取り巻く環境が大きく変貌してきました。少子高齢化と人口減少が進みつつある社会は、多様な価値観やライフスタイル、個性をお互いに認め合って自己実現をめざしていく社会へと進展し、その一方では、人々とのふれあいが希薄化し孤独な生活が生み出されています。
- ・ また、豊かさを求めてきた産業経済は、地球環境や食料自給率、生活や所得格差、地域間格差の解消といった喫緊の課題を引きおこしています。
- ・ しかし、いつの世も先人が幾多の困難を克服してきたように、この時代を生きる私たちが閉塞感を打ち破り、責任をもって将来への展望を見出し、解決していかなければならない課題です。

■未来につなぐ市民の力

- ・ かけがいのない自然の環境と豊穡の大地を大切に、助け合い、支えあうコミュニティを発展させながら未来につなぐのは、市民一人ひとりの力と地域の力です。
- ・ 将来像として掲げた「安心と希望、協働と活力の大地『ふらの』」は、市民の暮らしを地域と行政がしっかりと支え、そして、富良野の魅力や強みを市民が活かして創造するまちづくりを基本理念に、誰もが住みなれた地域で安心して暮らし、子どもたちの笑顔があふれ、市民の行動が輝くまちを一体となってめざしていこうとするものです。

